

## 情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] てんかん患者さんにおけるてんかん治療とうつ症状尺度の推移の検討

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 山本貴道

[研究責任者] 山添知宏 (てんかん・機能神経外科・医師)

[研究の概要]

### ■ 目的・方法 (研究期間も含む)

研究期間：2024年5月8日～2028年9月30日

目的：これまでの報告からてんかん症状とうつ症状の関連性が指摘されています。

当院外来通院中の方で、てんかん治療の状況と半年に1回程度で行ったうつ性自己評価尺度 (SDS : Self-rating Depression Scale) の推移を調査します。

方法：診療録とSDS評価を用いた観察研究

### ■ 対象となる患者さん

2024年5月～2027年3月に当院脳神経外科外来でてんかん治療をうけ、SDS評価を行った方

### ■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：年齢、性別、診断名、治療歴、てんかん症状・発作頻度、てんかん治療内容、画像所見、SDS評価値等

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

てんかん・機能神経外科 山添知宏

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971